

多賀城



重弁蓮花文軒丸瓦

多賀城市役所・多賀城市観光協会

多賀城市中央二丁目1番1号
TEL (02236) 8-1141



◀ 多賀城跡

多賀城は、今から約1,260年前の奈良時代初期に陸奥の国府と軍事関係を統轄する陸奥の鎮守府がおかれ、律令制度にもとづいて政治が行われた奈良時代から平安時代にかけて東北地方をおさめる政治と軍事の中心地であった。

仙台平野を望む丘陵上に1km四方の地域を占めている多賀城跡は、発掘調査の結果、政庁地区は、ほぼ中央約100m四方の地域で5回の造営が行われたことが認められた。その他の地区からも役所の建物跡、竪穴住居跡、木簡、計帳断簡をはじめ瓦・土器などが多数発見され、最近土の中から文書が発掘され一大発見として注目を集めている。

大正11(1922)年、国の史跡指定を受け昭和41(1966)年、特別史跡に指定され奈良の平城宮、九州の太宰府とともに日本三大史跡になっている。

〈出土品〉



緑釉陶器



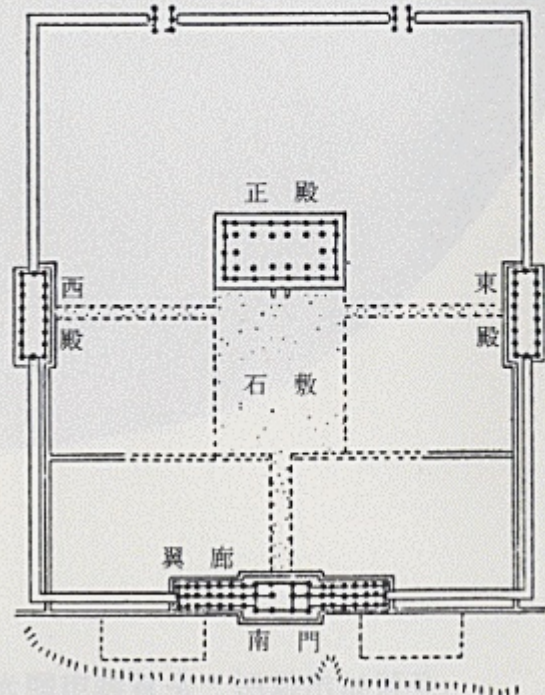
木簡



泥塔

東北歴史資料館提供

内城地内模式図 第Ⅱ期 (奈良時代後半)

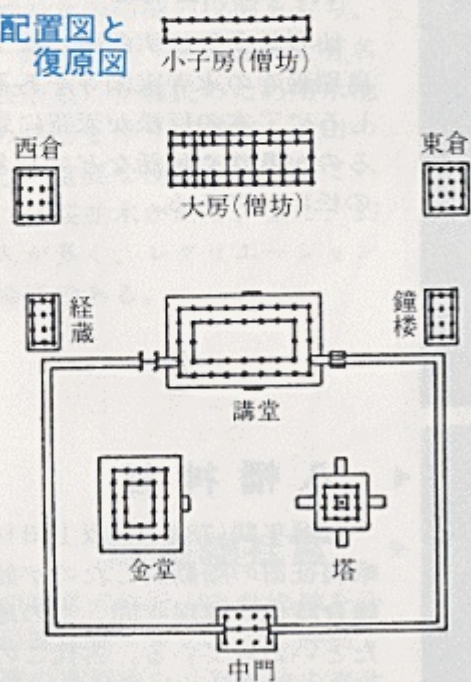


多賀城廃寺跡 ▶



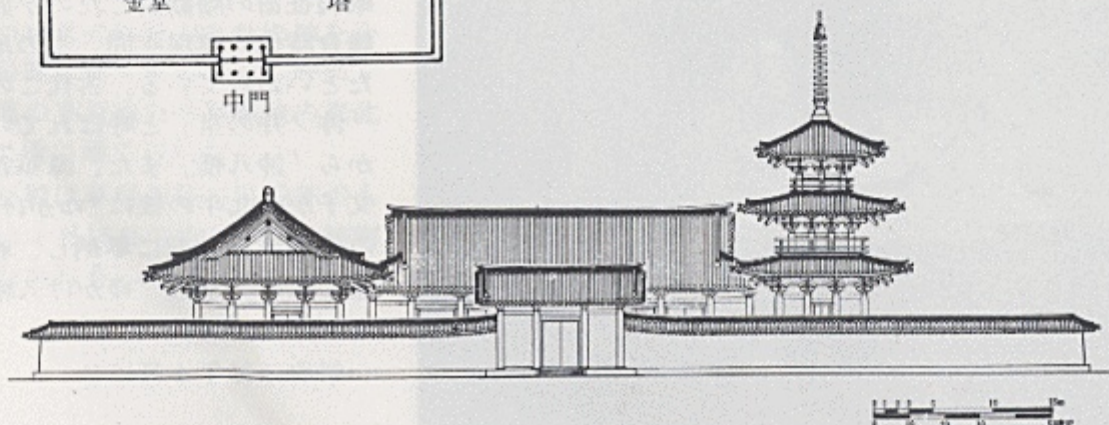
多賀城廃寺跡は多賀城政庁跡から東南約1.2km高崎の低丘陵上にあり、古くは高崎廃寺跡と呼ばれたこともあった。大正11(1922)年には多賀城に附(つけどり)指定されている。

伽藍配置図と復原図



多賀城の創建とほぼ同じ奈良時代の前半に附属寺院として建立されたことが判明し、伽藍の配置は、中軸線の南北に中門と講堂があり、その中間の東西に三重塔と金堂が並んでいる。講堂の北方には大房と小子房、東西には鐘楼や経蔵も配置されている。

多賀城廃寺は福岡県太宰府町の観世音寺に非常に良く似ているといわれ、昭和41(1966)年、国の特別史跡に指定され、史跡公園として整備されている。

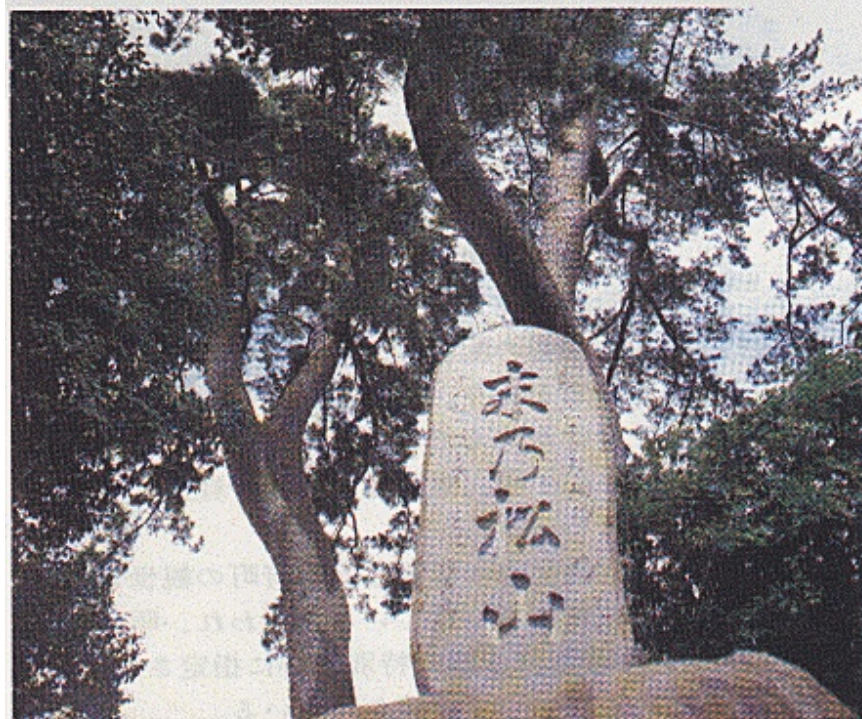




東北歴史資料館

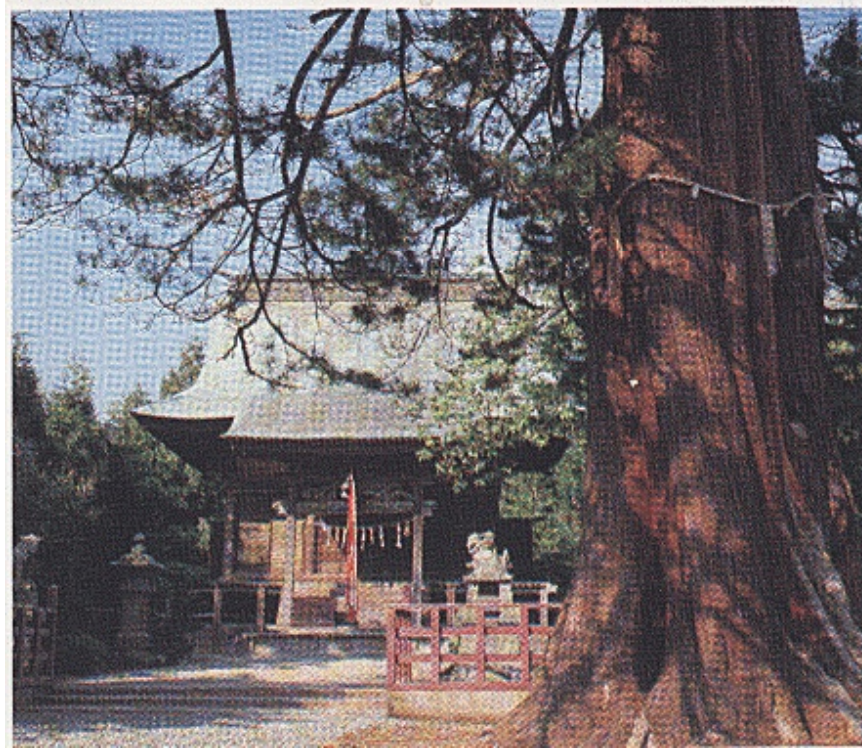
宮城県が県政100年と学制100年の記念事業として建設、昭和49(1974)年10月に開館し、宮城県をはじめ、東北各地に存在する考古、文書、民俗資料などの歴史資料を収集保存し、調査研究を行うとともにその研究成果を公開展示している。

休館日は毎週月曜日、祝日（こどもの日、文化の日を除く）



末の松山

仙石線多賀城駅西南の丘上に、松島瑞巖寺の末寺宝国寺がある寺のうしろに二本の巨松が天空に聳えているのが歌枕や民話などで有名な「末の松山」である。



八幡神社

延暦年間(782年)坂上田村麻呂が蝦夷征討の際勧請したのが始まりで鎌倉時代の建保年間、この地に移ったといわれている。古代この地域は「沖ノ井の里」と呼ばれていたことから「沖八幡」また、源頼義、義家父子が前九年の後に“ゆがけ”（皮製の手袋）を神前に奉納し、戦勝を祈願したことから“ゆがけ八幡”とも呼ばれている。

祭典は毎年4月15日

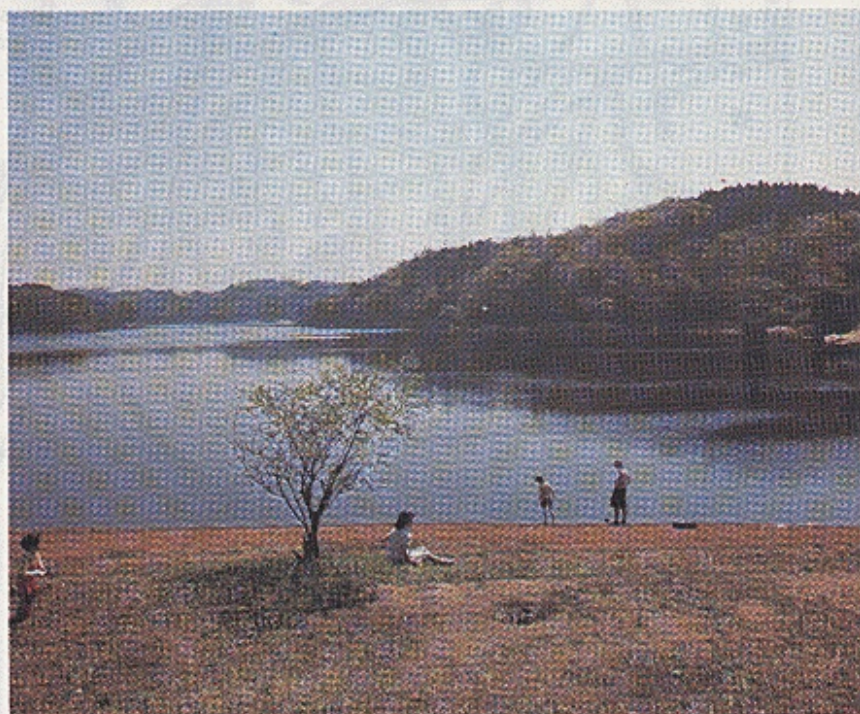
多賀城碑 ▶

小高い丘に覆堂に守られている高さ2 mにおよぶ石碑が立っているが、「つぼのいしぶみ」と呼びならわされている日本三古碑の一つ“多賀城碑”である。碑には、京をはじめ諸方から多賀城までの距離や神亀元年(724)年大野東人が創建し、藤原恵美朝孺が天平宝字6(762)年に修造したことが刻まれている。“奥の細道”で有名な松尾芭蕉も元禄2(1689)年旧5月8日曾良を従者として、この地を訪れている。



加瀬沼 ▶

周囲約4 km面積40ヘクタール、北は利府町、東は塩釜市に面し、奈良時代には多賀城の北の防備の役割をもち、万治年間、伊達頼重(伊達騒動で有名な伊達安芸宗重)が農民のため用水池とするため堤防を作り、現在も水田の灌漑用として重要な役割をはたしている。堤下には桜並木があり、また、釣を楽しむ人が多く、レクリエーションの絶好の場所である。



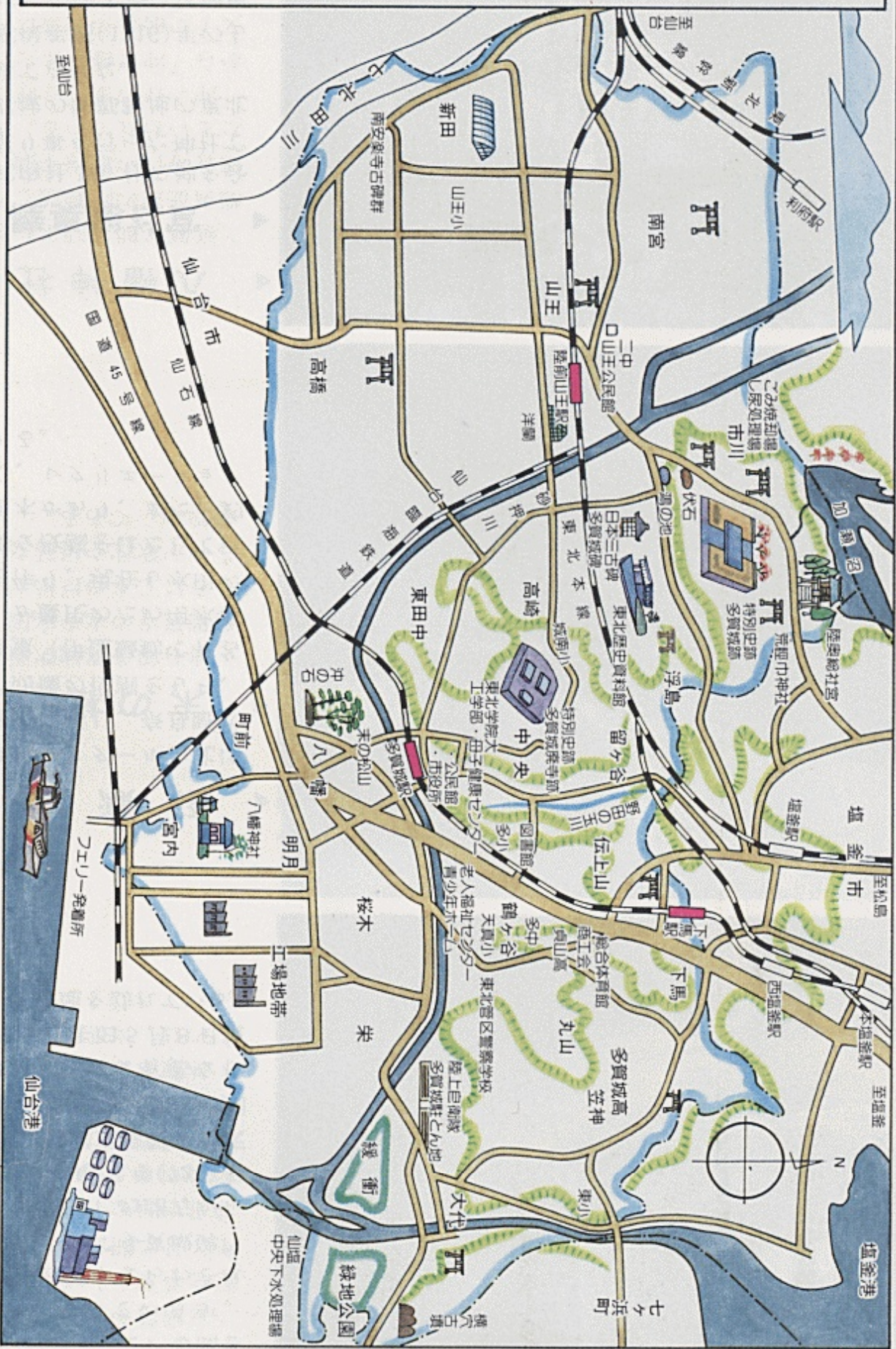
陸奥総社宮 ▶

陸奥国の延喜式内社100社の神を合祀し、国司自ら祭り事を行った神社で旧塩釜街道の多賀城の外郭築地の東北部に接した所に建てられた。

現在の社殿は享保年間(1716)年のもので、春の4月15日の例大祭には神輿渡御等が行われる。



多賀城市観光史跡名所案内図



史跡めぐりのタクシー案内 (貸切コース：各コース1時間30分程度) ※のりば：市内国鉄各駅前

- A. 駅 ——— 廃寺跡 ——— 城跡 ——— 総社宮 ——— 資料館 ——— 駅
- B. 駅 ——— 廃寺跡 ——— 末ノ松山 ——— 沖ノ石 ——— 八幡神社 ——— 仙台港 ——— 駅
- C. 駅 ——— 資料館 ——— 碑 ——— 城跡 ——— 総社宮 ——— 加瀬沼 ——— 廃寺跡 ——— 駅
- D. 駅 ——— 資料館 ——— 碑 ——— 城跡 ——— 城跡 ——— 廃寺跡 ——— 駅
- E. 駅 ——— 仙台港 ——— 城跡 ——— 城跡 ——— 資料館 ——— 駅